

令和5年度（2023年度）

「高校3年生を対象とした進路に関するアンケート」
調査結果報告書

建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

経営基盤整備支援センター 人材育成支援課

令和6年（2024年）3月

目次

はじめに

1. アンケートの概要	・・・・ P.1
2. 全体集計の結果	・・・・ P.3
3. クロス集計1の結果 (入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計)	・・・・ P.9
4. クロス集計2の結果 (卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・ P.11
5. クロス集計3の結果 (入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・ P.13
6. クロス集計4の結果 (入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に 卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け回答内容の差異を分析)	・・・・ P.15
参考. アンケートの回答者数・回答校数の集計	・・・・ P.17
各種コンテンツのご紹介	・・・・ P.18

はじめに

昨今、全国各地で台風や豪雨、地震による自然災害が頻発しております。被災地での早急な道路啓開や復旧・復興工事、また、国土強靱化を実現するためのインフラ整備等、建設産業は人々が豊かな暮らしを持続的に実現するための「社会資本整備の担い手」や防災・減災を担う「地域の守り手」を担っており、建設産業の役割の重要性は増しているところです。

こうした状況の中、建設業の技能者のうち60歳以上の割合が約4分の1を占める一方で、29歳以下は全体の約12%となっております。

各産業界における人手獲得競争が激化する中、建設産業が将来に亘り、前述の重要な役割を持続的に果たしていくためには、“若年者の担い手確保・育成・定着”が急務であり、建設産業の役割や重要性、仕事のやりがいなどの魅力発信に係る取り組みを継続的に実施する必要があります。

本報告書は、高等学校建設系学科に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、高校入学時の進路意識、進路に影響を及ぼしたものと及び就職先を決めた理由、すなわち“入学から卒業”までの進路意識を把握し取りまとめました。

本報告書にて今後の建設産業の人材確保に関する取組内容を検討するにあたっての一助として、ご参考にしていただければ幸いです。

最後となりますが、本報告書の発行にあたり、ご協力いただきました高等学校建設系学科の先生方・生徒の皆さまへ、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

令和6年3月

1 アンケートの概要

1. アンケートの目的

建設系高等学校に在籍する3年生（令和5年度卒業生）の生徒を対象に、建設産業に関する進路意識についてのアンケート調査を実施し、その結果を取りまとめ、今後の建設産業の人材確保・育成・定着に関する取組内容を検討するにあたっての参考資料として活用する。

2. アンケートの実施方法及び対象者

(1) 依頼方法

令和5年12月19日、全国の建設系学科を有する高等学校323校へアンケート用紙を発送（工業、工科高校263校、農業高校60校）。

(2) 回答期間

令和5年12月20日（水）～令和6年1月26日（金）

(3) 回答方法（次の①又は②）

①Googleフォームからの回答

②アンケート用紙への自記式による回答

(4) 対象者

全国の建設系高等学校に在籍する3年生（学科は土木及び建築等、建設系学科に限る）の生徒

3. アンケートの回答者数

6,779名（213校）※有効回答者数は**6,423名**（①Googleフォーム:3,152名 ②自記式:3,271名）

4. アンケートの集計方法

(1) 全体集計（P.3～P.8）

アンケートの設問内容（問1・問2・問3・問4）の結果を集計。

(2) クロス集計（P.9～P.16）

全国の有効回答者数が6,423名と相応数の回収が図れたことから、全体集計のような一律的な回答結果では把握することのできない集計・分析を実施するため、4通りのパターンに分けてクロス集計を行った。

1 アンケートの概要

5. アンケートの設問内容 (進路先が「就職」：問1から問4

進路先が「進学又は就職・進学以外」：問1から問3)

アンケート票

【高校3年生を対象とした進路に関するアンケート(目安：約2分)】

高等学校名

学 科 名

以下の設問に対して該当する項目(□)にチェックをいれてご回答ください。

※Googleフォームから回答される方は、裏面のQRコードよりご回答願います。

問1. 高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか。

決めていた(建設系) 決めていた(その他) 決めていなかった

問2. 高校卒業後の進路を教えてください。

就職(建設系) 就職(その他) 進学(建設系) 進学(その他)

就職・進学以外

問3. 問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

親(保護者) きょうだい 親(保護者)やきょうだい以外の親族

学校の先生 先輩 友達 インターネットやSNS 冊子(マンガ・雑誌等)

著名人 学校の授業 現場見学会・出前講座等の体験

特に他人などの影響を受けていない

その他()

問4. 問2で【就職】(建設系)、【就職(その他)】と回答された方にお聞きします。

その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

自らの成長が期待できる 資格を活かせる

給与 勤務時間や休暇 福利厚生や手当が充実

勤務場所(地元で働く) 勤務場所(地元以外で働く)

地元での知名度が高い 会社の雰囲気・設備

就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった 先輩や友達がいる

その他()

以 上

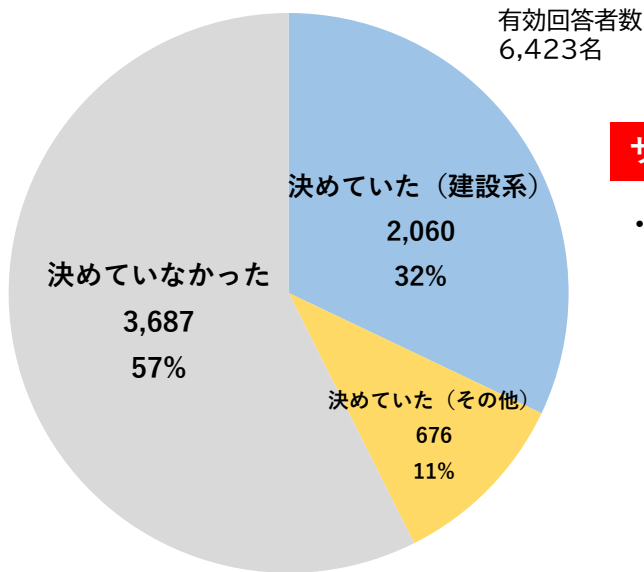
ご協力ありがとうございました。

6. 集計結果の留意点

問3・問4は複数回答形式のため、後項の各グラフの回答数と回答者数は一致しておりません。

2 全体集計の結果

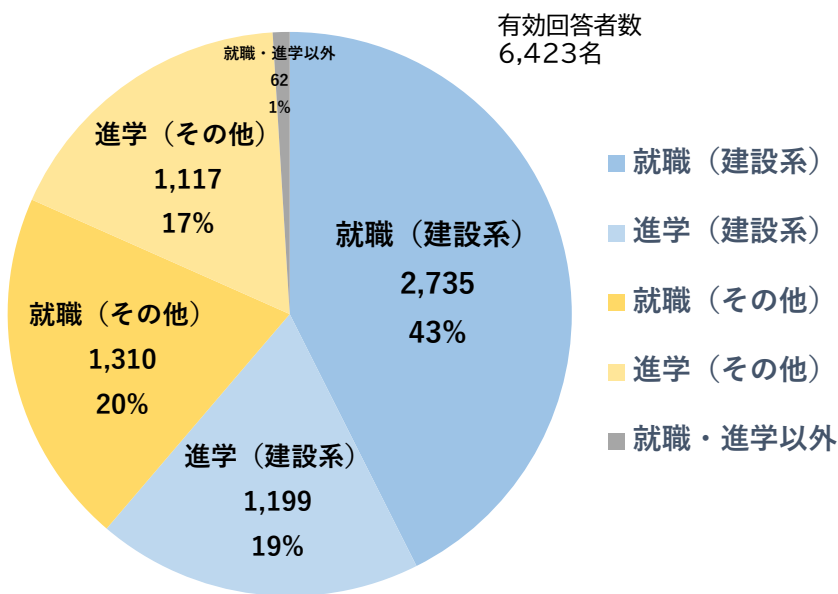
問1.高校入学時点で進路を決めておりましたでしょうか



サマリー

- ・建設系学科の高校入学時の進路意識について、建設系と決めていた割合は32%に留まっており、進路を決めていない割合が57%に及んだ。

問2.高校卒業後の進路を教えてください



●卒業後の【就職・進学】の内訳

就職：63% 進学：36%

（建設系・その他含む）

●卒業後の【進路業種

（建設系・その他）の内訳】

建設系：62% その他：37%

（就職・進学含む）

サマリー

- ・高校卒業生全体では8割超が進学する時代にあって、本調査では、**進学の割合は36%、就職の割合が63%**となっており、高等学校建設系学科においては今もなお、卒業後、すぐに社会へ出る生徒の割合が高い。
- ・卒業後の進路を「建設系」か「その他（建設系以外）」で見た場合、**建設系への就職が43%、建設系への進学が19%**と**建設系への進路割合は合計で62%**に留まっており、大まかに見ると、建設系学科を卒業しても約4割は、異なる業種（建設系以外）へ進んでしまっているといえる。

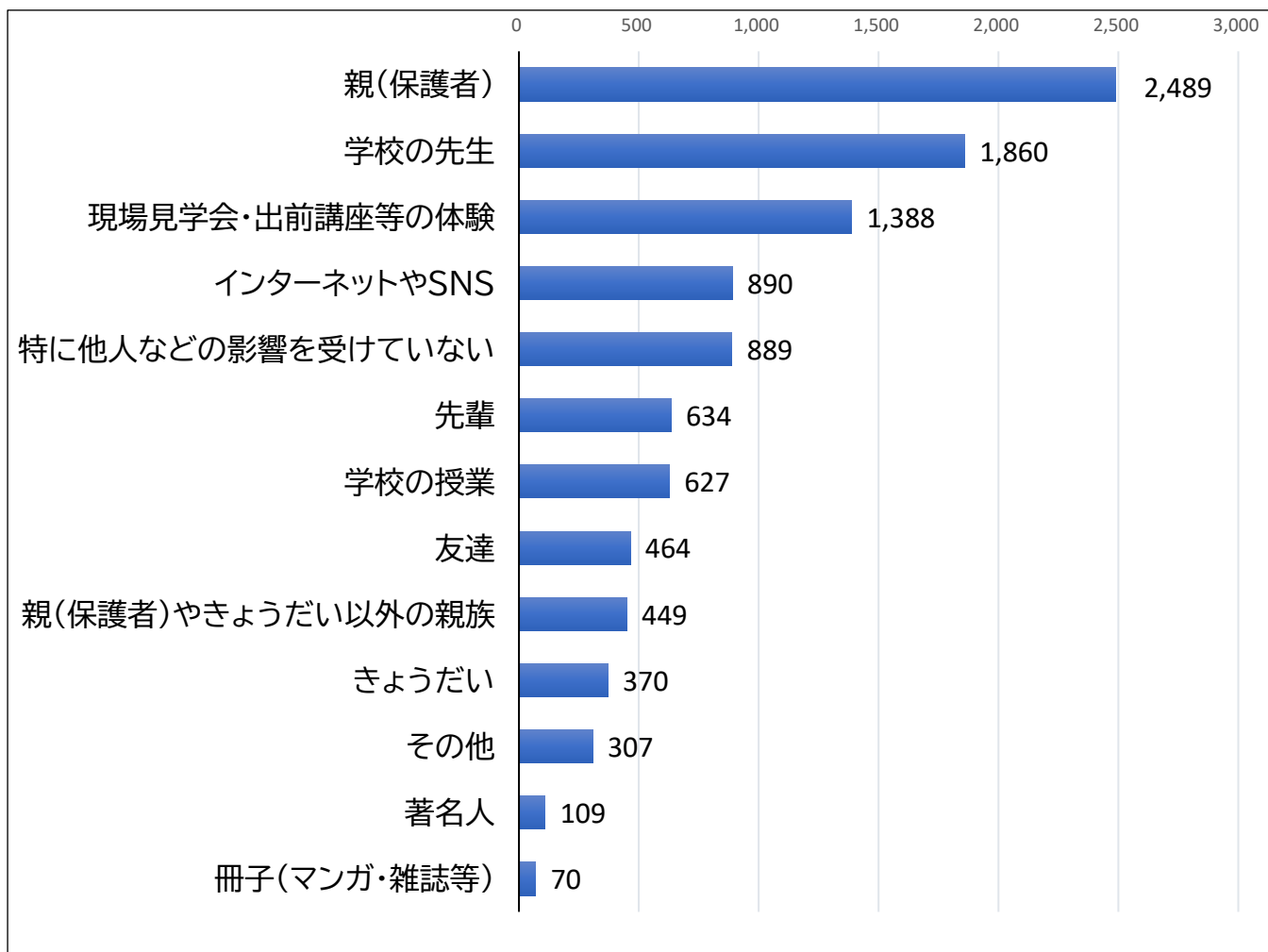
2 全体集計の結果（都道府県版 問1・問2）

都道府県	総回答者数 (a)	問1						問2									
		決めていた (建設系)		決めていなかった		決めていた (その他)		就職 (建設系)		進学 (建設系)		就職 (その他)		進学 (その他)		就職・進学 以外	
		人数 (b)	b/a	人数 (c)	c/a	人数 (d)	d/a	人数 (e)	e/a	人数 (f)	f/a	人数 (g)	g/a	人数 (h)	h/a	人数 (i)	i/a
北海道	338	99	30%	204	60%	35	10%	151	45%	40	12%	69	20%	73	22%	5	1%
青森県	89	19	21%	57	64%	13	15%	27	30%	15	17%	23	26%	23	26%	1	1%
岩手県	93	25	27%	60	65%	8	9%	44	47%	11	12%	24	26%	14	15%	0	0%
宮城県	186	50	27%	112	60%	24	13%	68	37%	26	14%	63	34%	26	14%	3	2%
秋田県	193	53	27%	109	56%	31	16%	73	38%	24	12%	61	32%	33	17%	2	1%
山形県	84	37	44%	41	49%	6	7%	29	35%	28	33%	17	20%	9	11%	1	1%
福島県	281	82	29%	171	61%	28	10%	116	41%	51	18%	60	21%	52	19%	2	1%
茨城県	194	58	30%	114	59%	22	11%	52	27%	56	29%	31	16%	45	23%	10	5%
栃木県	179	80	45%	91	51%	8	4%	83	46%	49	27%	35	20%	9	5%	3	2%
群馬県	175	61	35%	95	54%	19	11%	63	36%	45	26%	20	11%	46	26%	1	1%
埼玉県	175	67	38%	89	51%	19	11%	58	33%	44	25%	30	17%	40	23%	3	2%
千葉県	94	40	43%	42	45%	12	13%	35	37%	30	32%	14	15%	15	16%	0	0%
東京都	58	32	55%	23	40%	3	5%	38	66%	6	10%	7	12%	6	10%	1	2%
神奈川県	152	64	42%	72	47%	16	11%	91	60%	17	11%	19	13%	23	15%	2	1%
山梨県	151	41	27%	86	57%	24	16%	55	36%	33	22%	25	17%	38	25%	0	0%
新潟県	147	34	23%	93	63%	20	14%	62	42%	22	15%	30	20%	33	22%	0	0%
長野県	199	51	26%	120	60%	28	14%	60	30%	50	25%	42	21%	46	23%	1	1%
富山県	148	35	24%	94	64%	19	13%	56	38%	22	15%	26	18%	43	29%	1	1%
石川県	114	38	33%	66	58%	10	9%	54	47%	25	22%	14	12%	21	18%	0	0%
福井県	49	18	37%	26	53%	5	10%	27	55%	3	6%	16	33%	3	6%	0	0%
岐阜県	98	39	40%	46	47%	13	13%	48	49%	18	18%	16	16%	16	16%	0	0%
静岡県	252	85	34%	138	55%	29	12%	102	40%	62	25%	54	21%	30	12%	4	2%
愛知県	240	85	35%	130	54%	25	10%	120	50%	47	20%	44	18%	27	11%	2	1%
三重県	152	46	30%	98	64%	8	5%	57	38%	24	16%	48	32%	23	15%	0	0%
滋賀県	29	13	45%	14	48%	2	7%	12	41%	8	28%	5	17%	4	14%	0	0%
京都府	87	20	23%	53	61%	14	16%	23	26%	25	29%	15	17%	24	28%	0	0%
大阪府	209	80	38%	110	53%	19	9%	80	38%	67	32%	25	12%	36	17%	1	0%
兵庫県	116	47	41%	61	53%	8	7%	37	32%	37	32%	23	20%	17	15%	2	2%
奈良県	29	8	28%	17	59%	4	14%	8	28%	10	34%	2	7%	8	28%	1	3%
和歌山県	73	22	30%	40	55%	11	15%	19	26%	22	30%	14	19%	17	23%	1	1%
鳥取県	38	12	32%	23	61%	3	8%	18	47%	10	26%	6	16%	4	11%	0	0%
島根県	111	40	36%	69	62%	2	2%	57	51%	16	14%	15	14%	23	21%	0	0%
岡山県	181	56	31%	104	57%	21	12%	78	43%	32	18%	44	24%	26	14%	1	1%
広島県	50	10	20%	36	72%	4	8%	10	20%	8	16%	18	36%	14	28%	0	0%
山口県	74	9	12%	57	77%	8	11%	28	38%	4	5%	27	36%	13	18%	2	3%
香川県	79	32	41%	39	49%	8	10%	36	46%	29	37%	7	9%	7	9%	0	0%
徳島県	75	18	24%	51	68%	6	8%	41	55%	8	11%	12	16%	14	19%	0	0%
愛媛県	167	58	35%	98	59%	11	7%	90	54%	18	11%	29	17%	29	17%	1	1%
高知県	102	27	26%	66	65%	9	9%	42	41%	21	21%	13	13%	24	24%	2	2%
福岡県	72	24	33%	38	53%	10	14%	43	60%	4	6%	12	17%	13	18%	0	0%
佐賀県	73	16	22%	47	64%	10	14%	38	52%	7	10%	20	27%	8	11%	0	0%
長崎県	172	60	35%	96	56%	16	9%	92	53%	23	13%	32	19%	24	14%	1	1%
熊本県	266	68	26%	163	61%	35	13%	114	43%	17	6%	87	33%	45	17%	3	1%
大分県	101	41	41%	52	51%	8	8%	68	67%	11	11%	14	14%	7	7%	1	1%
宮崎県	146	49	34%	78	53%	19	13%	70	48%	19	13%	40	27%	16	11%	1	1%
鹿児島県	204	64	31%	124	61%	16	8%	102	50%	26	13%	49	24%	27	13%	0	0%
沖縄県	128	47	37%	74	58%	7	5%	60	47%	29	23%	13	10%	23	18%	3	2%
合計	6,423	2,060	32%	3,687	57%	676	11%	2,735	43%	1,199	19%	1,310	20%	1,117	17%	62	1%

2 全体集計の結果

問3.問2での進路を決めるにあたり、主に影響を受けたことを「最大2つまで」回答してください。

有効回答数:6,423名(複数回答)



サマリー

- ・卒業後の進路を決定するうえで、“親（保護者）”の影響を最も強く受けており、次の“学校の先生”と合わせて、身近にいる大人の影響を受けていることがわかる。続いて“現場見学会・出前講座等の体験”となっており、建設産業界が実施する体験学習の効果が顕れている。
- ・若年者が慣れ親しんでいる“インターネットやSNS”が上位であることから、“インターネットやSNS”のコンテンツによる継続的な訴求も重要であることが窺える。

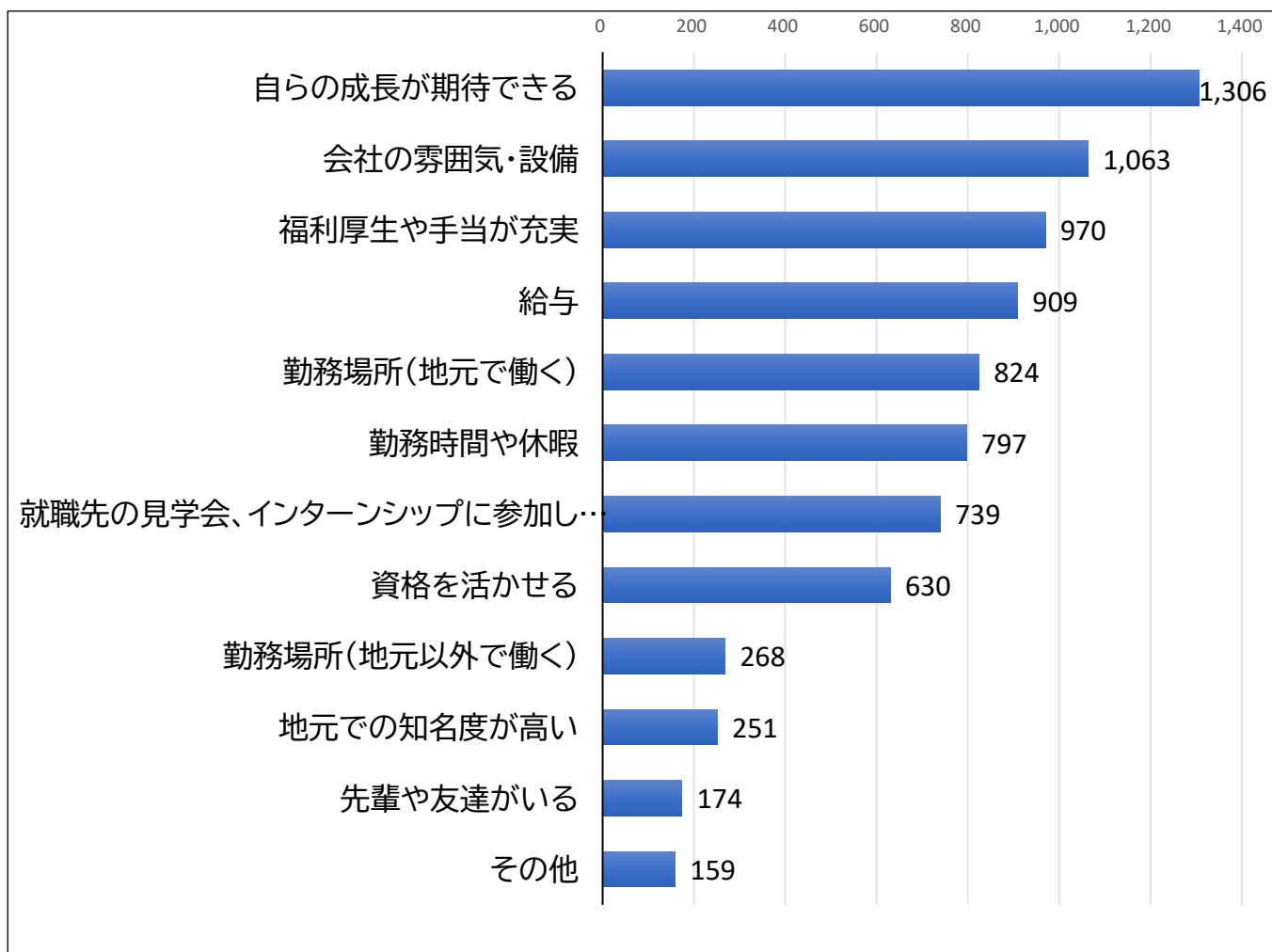
回答数一覧表	
①親（保護者）	2,489
②学校の先生	1,860
③現場見学会・出前講座等の体験	1,388
④インターネットやSNS	890
⑤特に他人などの影響を受けていない	889
⑥先輩	634

⑦学校の授業	627
⑧友達	464
⑨親（保護者）やきょうだい以外の親族	449
⑩きょうだい	370
⑪その他	307
⑫著名人	109
⑬冊子（マンガ・雑誌等）	70

2 全体集計の結果

問4.問2で【就職(建設系)】【就職(その他)】と回答された方にお聞きします。その就職先に決めた主な理由を「2つ」回答してください。

卒業後に就職する方限定 有効回答数:4,045名(複数回答)



サマリー

- ・就職先の選択理由において、“**自らの成長が期待できる**”との回答が最も多かった。企業PRにおいて、高校生に対し入社後の将来像、キャリアパスや研修プログラムなどをしっかり示すことが非常に重要であることが窺える。

回答数一覧表	
①自らの成長が期待できる	1,306
②会社の雰囲気・設備	1,063
③福利厚生や手当が充実	970
④給与	909
⑤勤務場所(地元で働く)	824
⑥勤務時間や休暇	797

⑦就職先の見学会、インターンシップに参加して良かった	739
⑧資格を活かせる	630
⑨勤務場所(地元以外で働く)	268
⑩地元での知名度が高い	251
⑪先輩や友達がいる	174
⑫その他	159

2 全体集計の結果（都道府県版 問3）

注：下表の①～⑬は以下の項目を指します（問3は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

①親（保護者） ②学校の先生 ③現場見学会・出前講座等の体験 ④インターネットやSNS ⑤特に他人などの影響を受けていない
⑥先輩 ⑦学校の授業 ⑧友達 ⑨親（保護者） やきょうだい以外の親族 ⑩きょうだい ⑪その他 ⑫著名人 ⑬冊子（マンガ・雑誌等）

都道府県	総回答者数	問3												
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	338	157	111	53	40	37	28	23	23	23	33	18	8	2
青森県	89	27	23	14	21	14	10	11	7	10	6	5	2	0
岩手県	93	24	39	26	10	7	15	9	12	5	2	4	1	3
宮城県	186	83	62	31	17	33	13	14	18	11	12	8	2	1
秋田県	193	78	50	53	29	24	26	13	8	15	15	5	6	2
山形県	84	34	23	17	12	12	8	8	6	5	5	7	0	1
福島県	281	115	65	73	40	31	31	25	26	19	20	8	7	3
茨城県	194	72	60	30	36	29	18	15	21	14	12	13	2	1
栃木県	179	86	45	39	23	28	17	17	12	12	7	13	3	2
群馬県	175	72	42	35	30	25	19	15	18	12	7	9	4	2
埼玉県	175	63	43	31	27	35	14	11	12	13	10	7	6	5
千葉県	94	47	30	15	12	13	3	12	6	6	6	7	2	1
東京都	58	15	19	18	7	10	2	11	1	3	3	7	0	0
神奈川県	152	64	49	39	11	22	12	25	7	8	12	7	3	1
山梨県	151	54	28	37	34	19	14	19	11	15	11	6	4	1
新潟県	147	40	33	47	23	26	10	15	8	4	9	3	3	5
長野県	199	86	60	43	27	26	12	29	13	13	11	8	2	2
富山県	148	46	49	33	28	22	10	20	8	12	10	4	3	1
石川県	114	49	25	14	16	15	7	13	11	9	11	6	2	0
福井県	49	27	7	13	4	6	3	4	2	5	4	1	1	0
岐阜県	98	35	31	24	10	14	11	9	3	6	7	8	1	3
静岡県	252	108	77	53	34	29	25	26	15	14	12	17	4	2
愛知県	240	92	66	48	24	44	18	29	20	16	11	11	5	3
三重県	152	55	45	33	15	23	7	15	12	13	8	6	0	1
滋賀県	29	12	6	5	4	4	2	4	1	3	1	3	0	0
京都府	87	26	30	10	10	16	5	10	8	4	3	4	3	0
大阪府	209	85	50	29	33	33	16	22	20	13	14	13	4	3
兵庫県	116	55	31	26	18	15	10	13	6	8	5	4	2	3
奈良県	29	8	7	8	5	5	1	3	5	2	1	2	2	0
和歌山県	73	30	25	9	5	10	7	8	2	2	2	7	2	0
鳥取県	38	13	12	9	4	7	2	2	2	4	0	2	1	0
島根県	111	29	35	31	25	13	13	18	9	2	3	7	1	4
岡山県	181	58	58	39	32	23	16	21	10	14	9	10	0	2
広島県	50	15	14	13	6	7	7	6	4	3	2	1	0	0
山口県	74	33	14	18	9	14	5	11	3	4	3	4	1	0
香川県	79	33	42	13	7	9	8	10	4	4	3	0	0	2
徳島県	75	27	26	16	12	8	11	12	10	3	1	1	0	1
愛媛県	167	70	47	44	24	25	21	11	9	13	7	2	2	1
高知県	102	42	19	22	12	14	13	8	10	10	5	5	1	4
福岡県	72	32	15	17	4	6	16	7	1	6	6	7	0	1
佐賀県	73	28	26	22	6	12	9	3	4	6	9	3	1	0
長崎県	172	52	51	52	24	15	40	10	13	12	14	6	4	0
熊本県	266	85	83	59	34	35	32	15	19	23	16	13	2	5
大分県	101	55	44	18	16	7	8	9	2	10	5	2	2	1
宮崎県	146	62	34	28	19	27	21	11	9	12	6	8	2	0
鹿児島県	204	72	68	50	33	17	27	15	17	16	10	9	6	0
沖縄県	128	38	41	31	18	23	11	10	16	12	1	6	2	1
合計	6,423	2,489	1,860	1,388	890	889	634	627	464	449	370	307	109	70

2 全体集計の結果（都道府県版 問4）

注）：下表の①～⑫は以下の項目を指します（問4は複数回答形式のため、回答数と回答者数は一致していません）

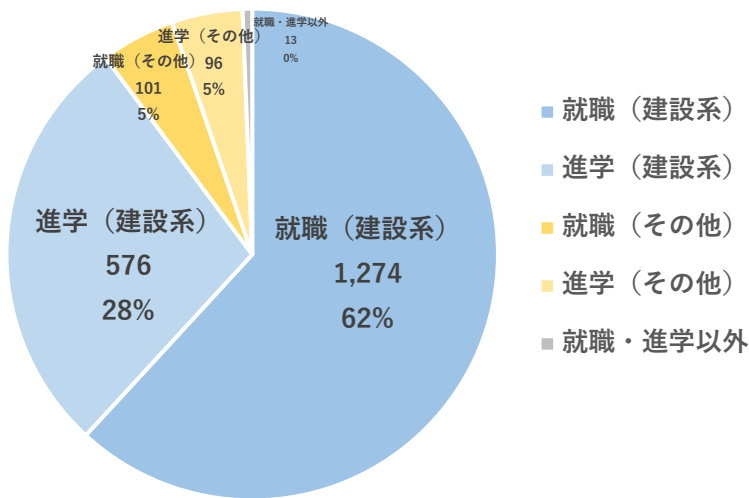
- ①自らの成長が期待できる ②会社の雰囲気・設備 ③福利厚生や手当が充実 ④給与 ⑤勤務場所（地元で働く） ⑥勤務時間や休暇
⑦就職先の見学会、インターシップに参加して良かった ⑧資格を活かせる ⑨勤務場所（地元以外で働く） ⑩地元での知名度が高い ⑪先輩や友達がいる ⑫その他

都道府県	総回答者数 (就職者のみ)	問4											
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫
		回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数	回答数
北海道	220	70	60	49	56	44	40	48	26	24	11	10	2
青森県	50	18	10	12	11	13	6	14	5	7	3	1	0
岩手県	68	15	16	15	17	20	9	16	16	4	2	4	2
宮城県	131	47	22	38	35	26	33	26	10	8	7	8	2
秋田県	134	35	25	36	29	39	12	40	18	17	12	1	4
山形県	46	16	11	12	10	10	9	10	5	6	1	1	1
福島県	176	55	40	43	35	40	22	31	42	13	11	15	5
茨城県	83	13	21	14	26	23	18	17	18	3	9	2	2
栃木県	118	34	28	27	30	25	35	18	21	4	7	4	3
群馬県	83	26	20	20	20	14	22	17	11	2	4	4	6
埼玉県	88	50	29	18	16	8	12	8	12	4	7	5	7
千葉県	49	15	11	15	13	7	10	8	1	2	5	3	8
東京都	45	15	13	11	17	5	11	6	6	0	3	0	3
神奈川県	110	31	35	26	31	11	20	30	14	2	7	3	10
山梨県	80	25	26	17	14	19	13	16	9	4	4	7	6
新潟県	92	26	25	19	20	24	18	16	19	6	9	0	2
長野県	102	40	22	20	24	21	12	16	23	9	10	4	3
富山県	82	36	25	16	8	19	15	19	15	1	7	1	2
石川県	68	21	32	10	11	13	11	17	8	1	5	5	2
福井県	43	22	13	6	14	5	2	10	5	2	7	0	0
岐阜県	64	19	15	11	19	11	20	13	7	3	4	3	3
静岡県	156	42	47	37	34	38	29	35	26	6	8	4	6
愛知県	164	51	47	37	48	29	50	18	11	10	12	9	6
三重県	105	27	32	24	20	24	25	21	14	2	9	5	7
滋賀県	17	4	8	3	1	2	3	3	3	0	3	0	4
京都府	38	10	7	11	3	5	9	12	9	4	2	2	2
大阪府	105	29	29	34	22	20	32	12	11	2	4	8	7
兵庫県	60	13	28	13	10	14	9	10	12	2	5	2	2
奈良県	10	4	2	2	3	0	2	4	2	1	0	0	0
和歌山県	33	17	10	4	10	6	6	3	2	1	4	0	3
鳥取県	24	8	6	5	3	5	9	5	5	0	1	1	0
島根県	72	22	24	16	12	13	12	16	12	3	7	5	2
岡山県	122	42	21	31	35	19	26	21	15	7	13	7	7
広島県	28	7	6	7	7	11	8	4	1	0	3	0	2
山口県	55	12	16	15	14	8	9	12	12	7	1	2	2
香川県	43	18	7	15	8	11	7	8	5	4	2	1	0
徳島県	53	21	17	8	11	9	8	10	14	2	2	3	1
愛媛県	119	43	36	33	18	28	18	14	26	9	5	4	4
高知県	55	14	16	16	18	9	12	8	10	1	2	2	2
福岡県	55	15	14	20	8	7	14	3	7	12	5	3	2
佐賀県	58	16	10	8	16	22	18	7	5	5	6	1	2
長崎県	124	47	36	31	13	29	20	22	23	18	3	4	2
熊本県	201	70	44	47	46	46	34	34	39	9	8	14	11
大分県	82	26	17	24	16	14	18	15	15	9	4	3	3
宮崎県	110	34	28	29	20	21	31	13	24	12	0	6	2
鹿児島県	151	48	44	46	31	29	25	24	22	17	5	5	6
沖縄県	73	37	12	19	26	8	13	9	14	3	2	2	1
合計	6,423	1,306	1,063	970	909	824	797	739	630	268	251	174	159

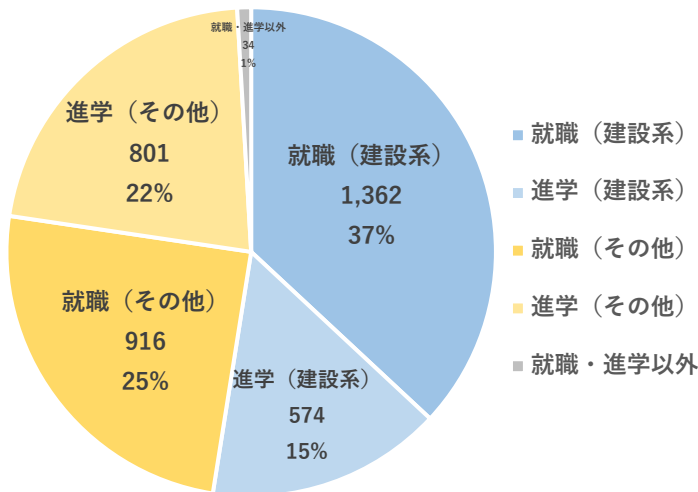
3 クロス集計1の結果

入学時の進路意識別に卒業後の進路先を集計。

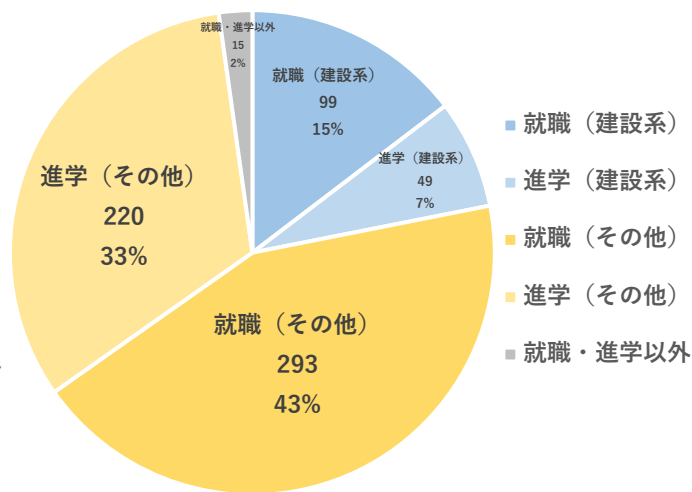
●入学時の進路を「決めていた（建設系）」回答者の進路先（2,060名）



●入学時の進路を「決めていなかった」回答者の進路先（3,687名）



●入学時の進路を「決めていた（その他）」回答者の進路先（676名）



入学時の進路を「決めていた（建設系）」回答者の進路先

就職（建設系）	1274
就職（その他）	101
進学（建設系）	576
進学（その他）	96
就職・進学以外	13

建設系で90%
(1,850名)

入学時の進路を「決めていなかった」回答者の進路先

就職（建設系）	1362
就職（その他）	916
進学（建設系）	574
進学（その他）	801
就職・進学以外	34

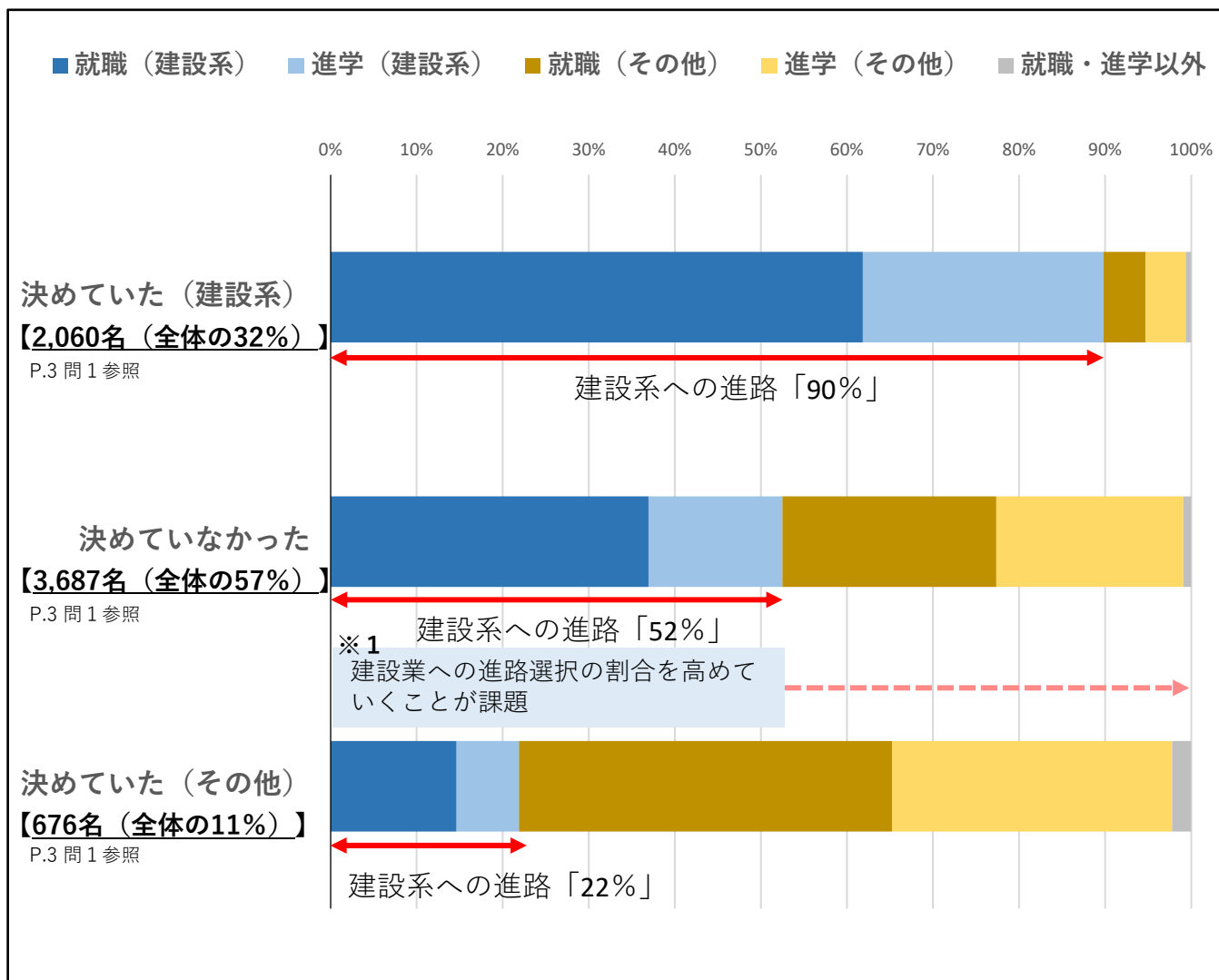
建設系で52%
(1,936名)

入学時の進路を「決めていた（その他）」回答者の進路先

就職（建設系）	99
就職（その他）	293
進学（建設系）	49
進学（その他）	220
就職・進学以外	15

建設系で22%
(148名)

3 クロス集計1の結果



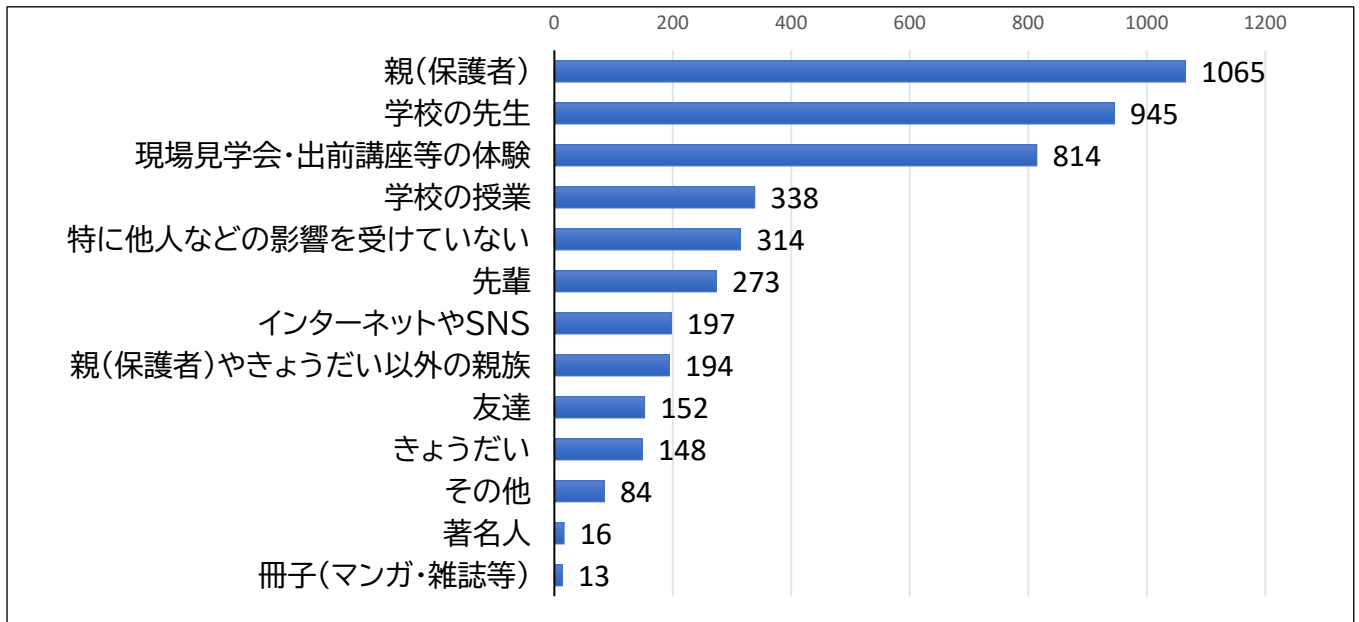
サマリー (クロス集計1)

- ・「高校入学時、建設系に進路を決めていた生徒」の割合は全体の32% (P.4 問1 参照) に留まるものの、**この内90%が卒業後の進路を建設系**としていることから、**入学時に目的意識を定めて入学した生徒ほど一貫して卒業後の進路に反映される結果**となった。このことから、**高校卒業後の建設産業界への進路決定については、高校入学前 (主に小学生・中学生) に建設産業界への進路意識 (興味・関心等) を持ってもらうことが重要**であると窺える。
- ・その一方で、全体の57%を占める「入学時に進路を決めていなかった生徒」 (P.4 問1 参照) については **卒業後の建設系への進路選択が52%**であり、「入学時に建設系に進路を決めていた生徒」の90%と比較すると大きな開きが生じていることから、担い手確保に向けては、**この割合を高めていくことが課題**であると窺える (この課題における分析内容については、クロス集計4-1 (P.13)、4-2 (P.14) を参照)。

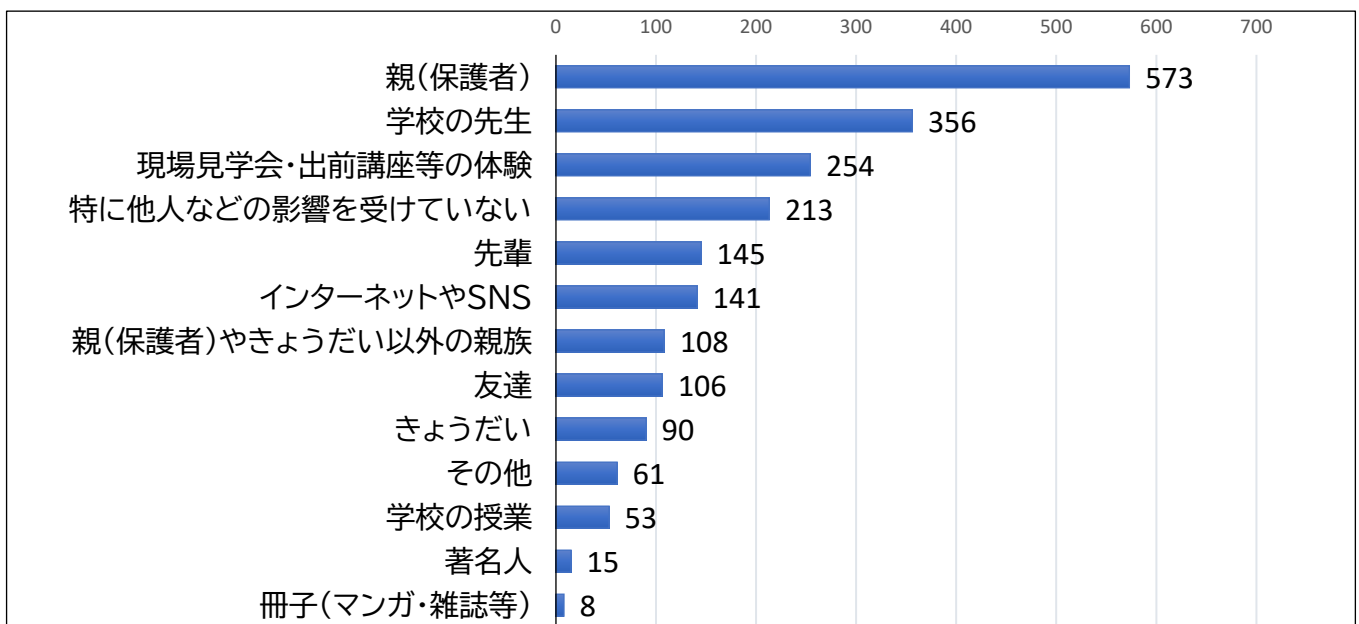
4 クロス集計2-1の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2-1）

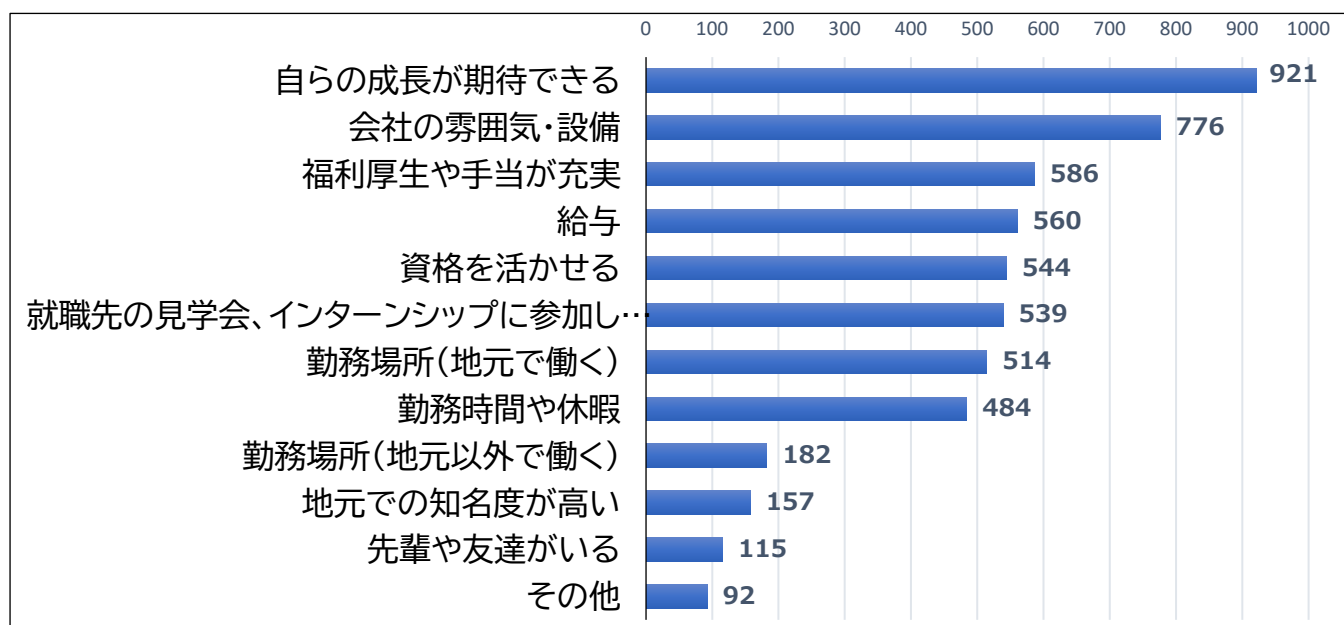
※就（建）…「就職（建設系）」 ※就（他）…「就職（その他）」

- ・共通して“親（保護者）”“学校の先生”“現場見学会・出前講座等の体験”の回答が上位となっており、全体的な差異が見受けられない中、[※]就（建）では“学校の授業”が4位に対し[※]就（他）は11位であり、建設系に就職する生徒ほど“学校の授業”に影響を受けていることが窺える。

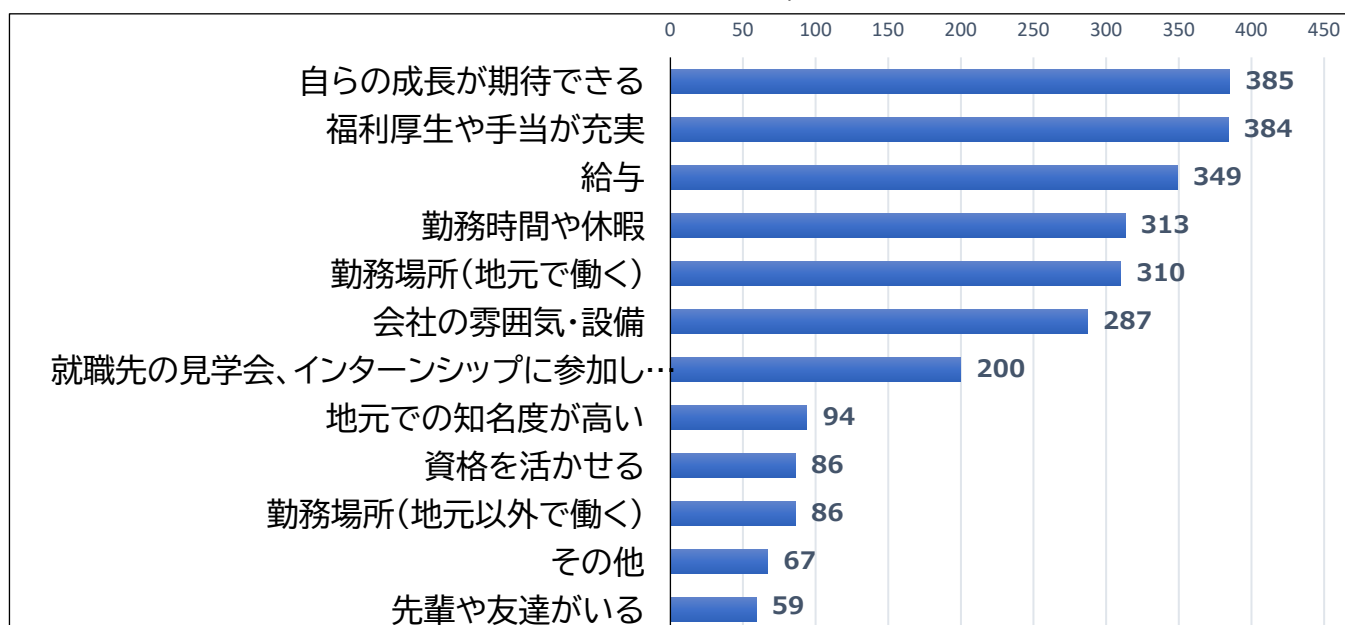
4 クロス集計2-2の結果

卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

卒業後「就職（建設系）」を進路先とした回答者（2,735名）



卒業後「就職（その他）」を進路先とした回答者（1,310名）



サマリー（クロス集計2-2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

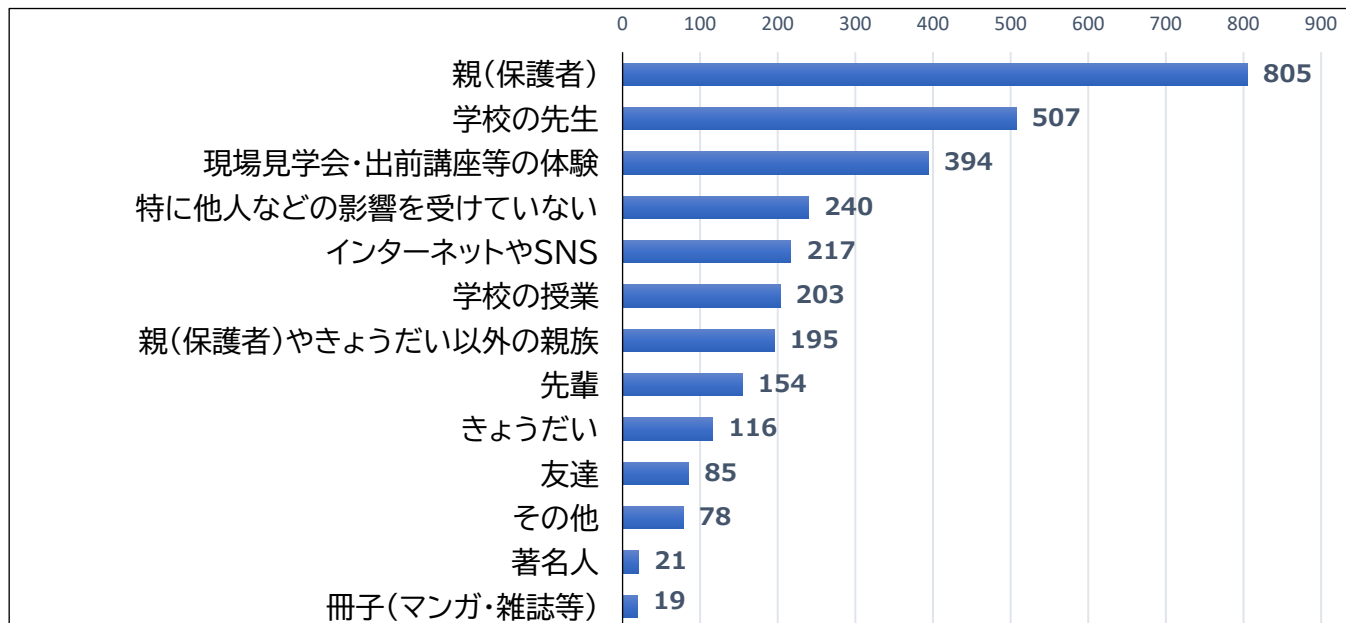
- ・共通して“自らの成長が期待できる”の回答が最上位となった。
- ・※就（建）では“会社の雰囲気・設備”“資格を活かせる”が上位5位以内となっている一方で、※就（他）はそれぞれ5位以下となっている。どんな人とどのような環境で働くのか、また、在学中に得た資格を活かせるかを重視していることが窺える。

5 クロス集計3-1の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの差異を分析（就職・進学を含む）。

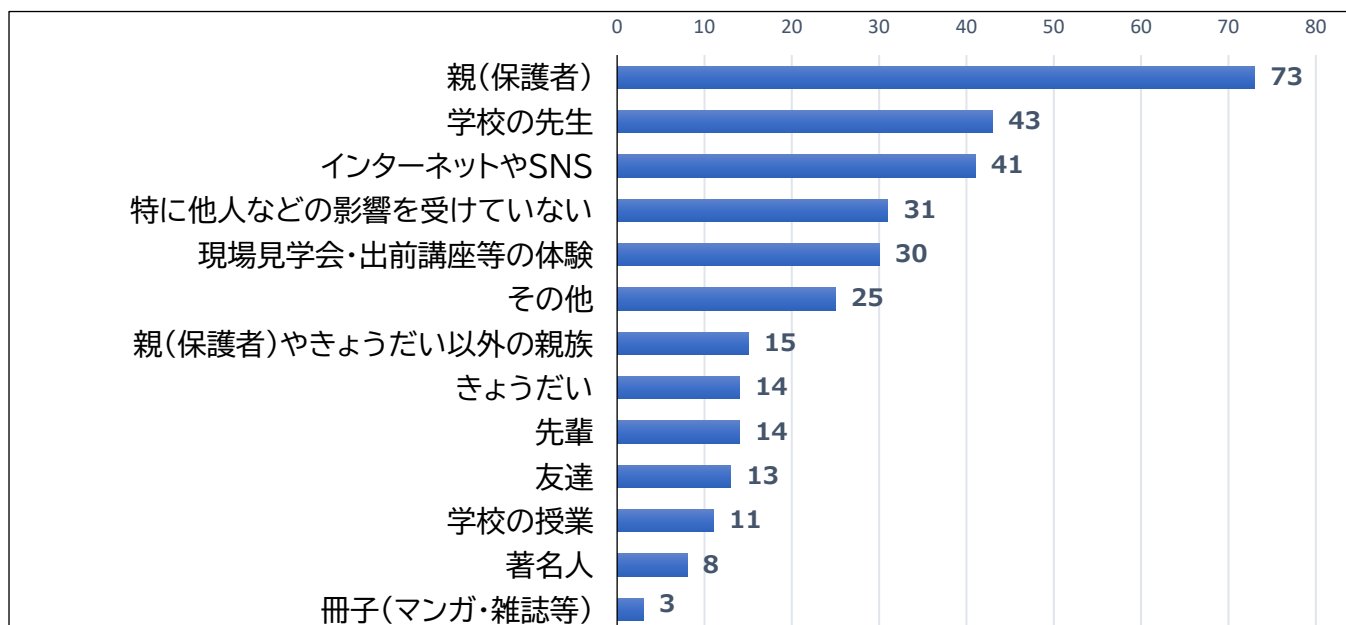
※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,850名）



※就職・進学含む

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（197名）



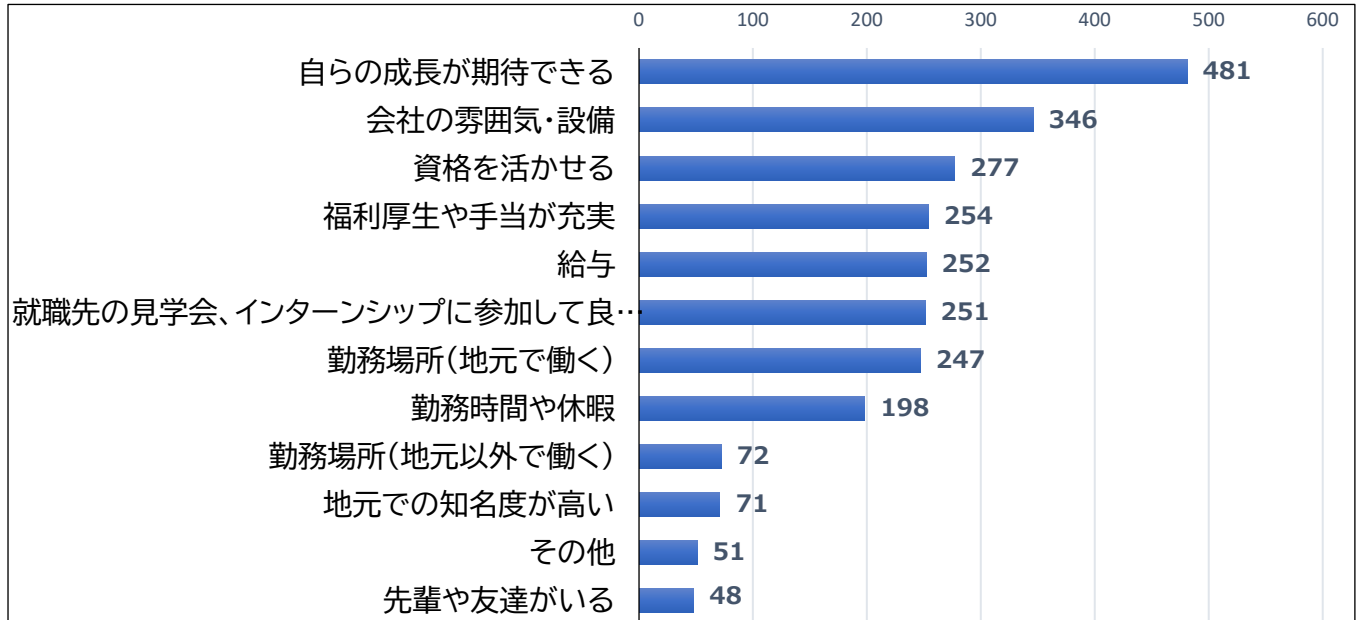
サマリー（クロス集計3-1）

- ・共通して上位5位以内は変わらない等、進路を決めるにあたり影響を受けたことについて特段の差異がない中、クロス集計3-2の就職先を決めた理由では差異が見受けられた。
- ・進路意識を建設系としていたにも関わらず「その他（建設系以外）」へ進んだ生徒は“親（保護者）”の影響を最も受けていることから、“親（保護者）”に対する建設産業の魅力等のPRを実施することが重要と窺える。

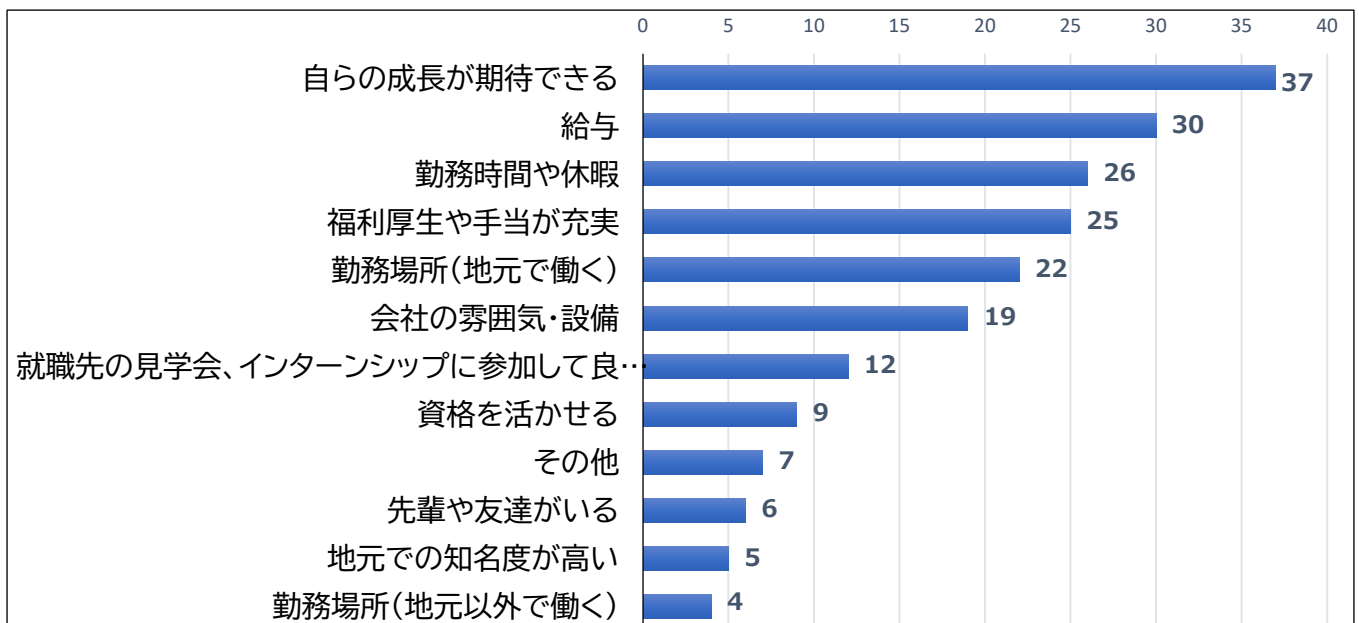
5 クロス集計3-2の結果

入学時の進路意識を建設系と決めていた回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,274名）



入学時の進路を建設系に決めていた⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（101名）



サマリー（クロス集計3-2）

※就（建）・・・「就職（建設系）」 ※就（他）・・・「就職（その他）」

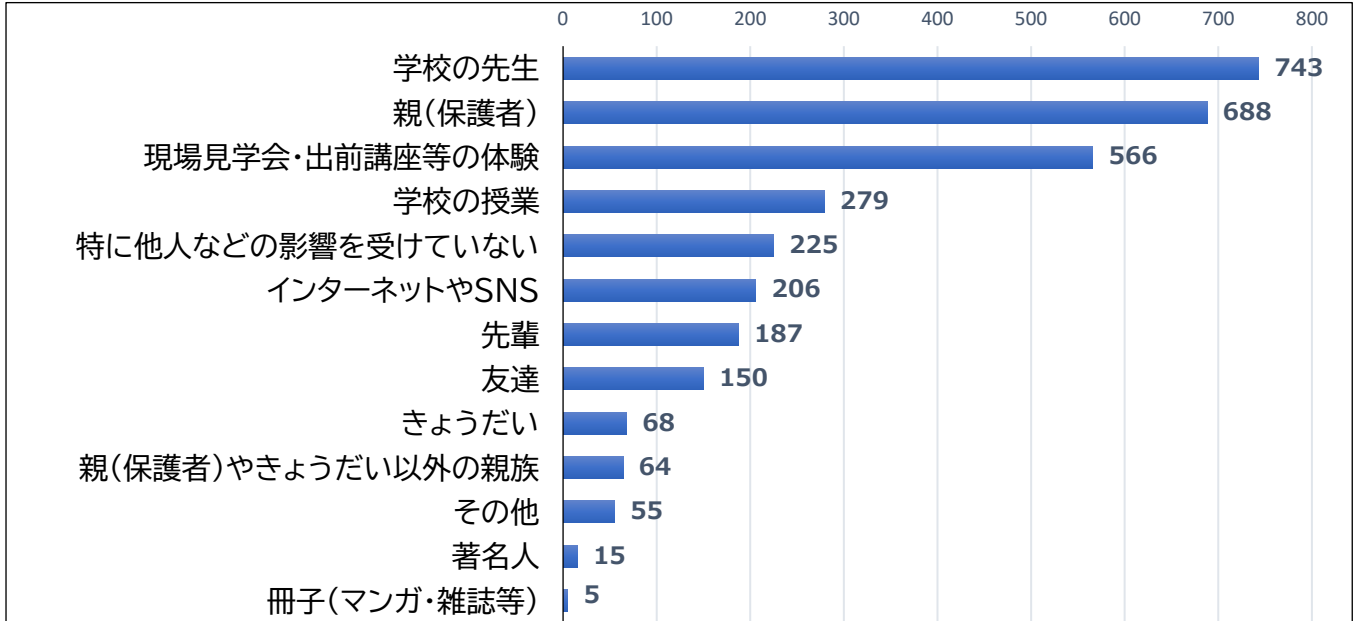
- ・共通して“自らの成長が期待できる”が最上位となった。
- ・※就（建）は“会社の雰囲気・設備”“資格を活かせる”が上位となっている一方で、入学時に建設系への進路意識をもっていたにも関わらず※就（他）の進路を選択した生徒においては、“給与”“勤務時間や休暇”を重視していることが窺える。

6 クロス集計4-1の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の進路を「建設系」と「その他」に分け、主に影響を受けたことの理由の差異を分析（就職・進学を含む）。

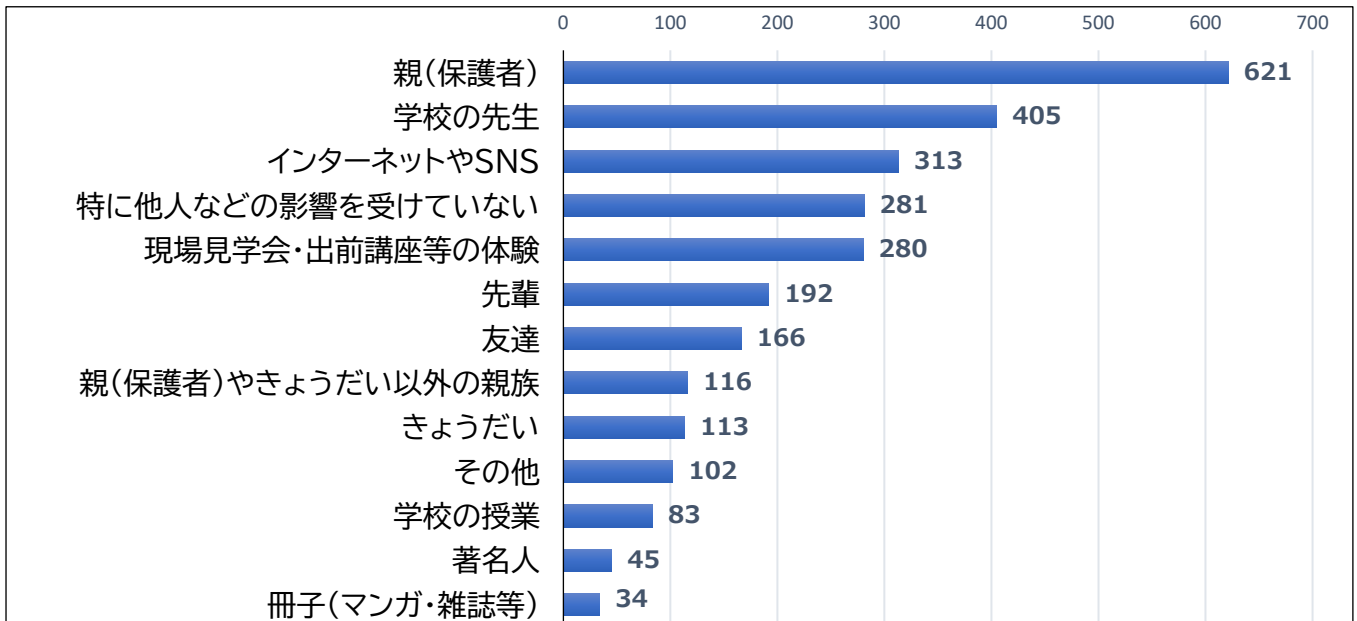
※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「建設系」を進路とした回答者（1,936名）



※就職・進学含む

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「その他」を進路とした回答者（1,717名）



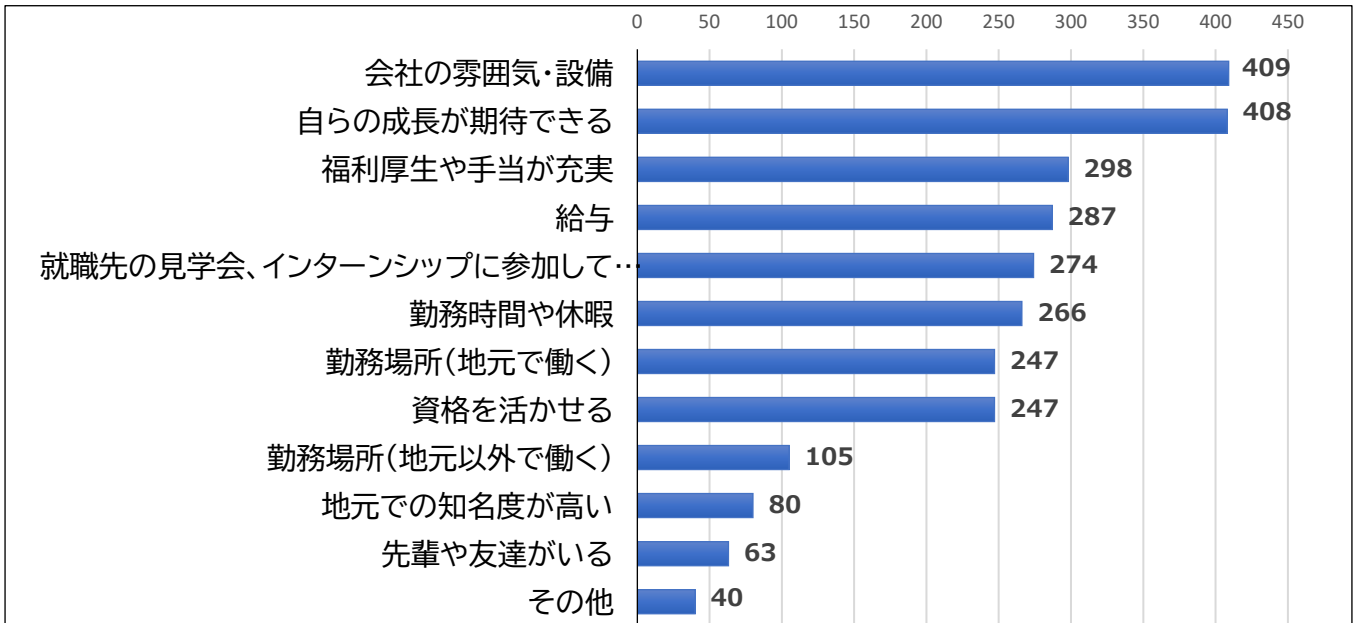
サマリー（クロス集計4-1）

- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”から最も影響を受けているため、“**学校の先生**”による進路指導等が大きく寄与していると窺える。さらに「建設系」は「その他（建設系以外）」と比較し“**学校の授業**”が上位となっている。なお、クロス集計3-1と同様「その他（同上）」は“**親（保護者）**”からの影響が突出している。
- ・入学時に進路を決めていなかった生徒が建設系への進路を決めるにあたり“**学校の先生**”や“**学校の授業**”、“**現場見学会・出前講座等の体験**”が大きな影響を及ぼしていることが窺える。

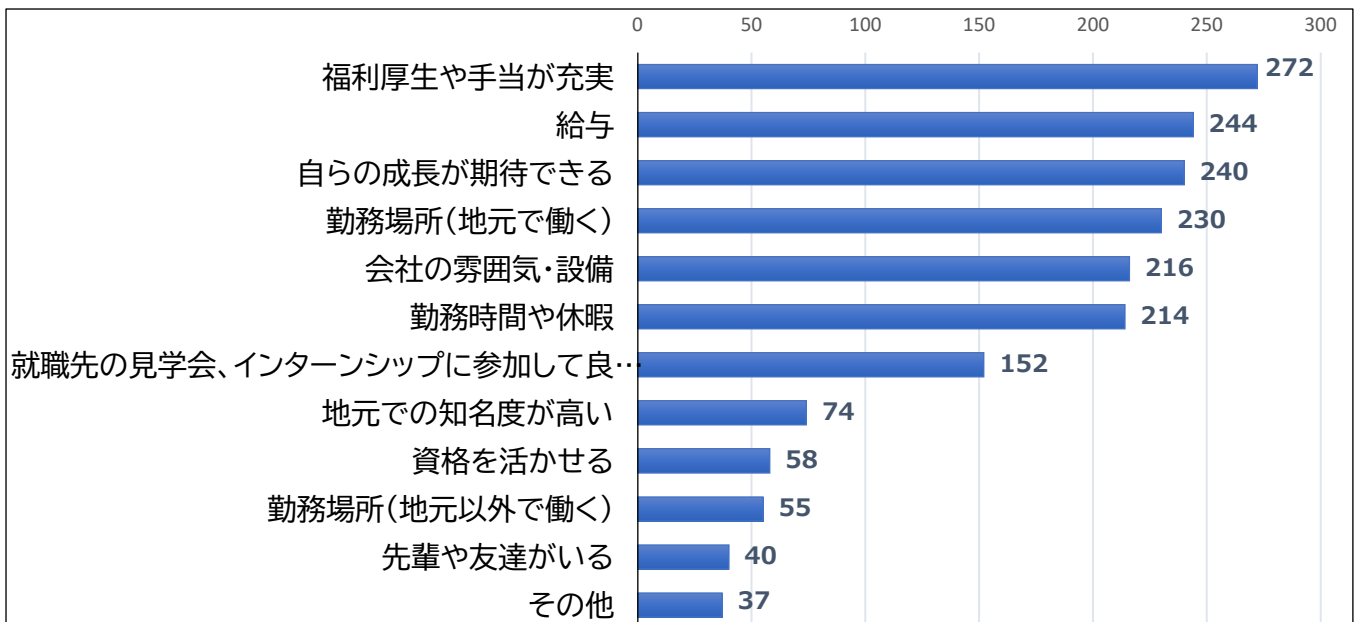
6 クロス集計4-2の結果

入学時に進路意識を決めていなかった回答者を対象に、卒業後の就職先を「建設系」と「その他」に分け、その就職先に決めた理由の差異を分析。

入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（建設系）」とした回答者（1,362名）



入学時の進路を決めていなかった⇒卒業後「就職（その他）」とした回答者（916名）



サマリー（クロス集計4-2）

※就（建）…「就職（建設系）」 ※就（他）…「就職（その他）」

- ・就（建）は働く環境面を重視している一方で、就（他）は待遇面を重視していることが窺える。就（他）は“給与”はもとより、“福利厚生や手当が充実”も重視している。
- ・就（他）において、待遇面以外に、“勤務場所（地元で働く）”の「地元就職」も上位にあるにも関わらず、一定数が建設業ではなく他産業を選択していることが課題であると窺える。

●高校所在地別（都道府県） 回答者数・回答学校数【有効回答のみ】

都道府県名	回答者数	回答校数	(送付校数)
北海道	338	8	13
青森県	89	3	7
岩手県	93	3	6
宮城県	186	8	8
秋田県	193	9	10
山形県	84	3	5
福島県	281	9	11
茨城県	194	5	7
栃木県	179	5	8
群馬県	175	6	8
埼玉県	175	5	7
千葉県	94	4	7
東京都	58	2	5
神奈川県	152	4	8
山梨県	151	6	7
新潟県	147	5	8
長野県	199	3	5
富山県	148	4	4
石川県	114	3	4
福井県	49	2	3
岐阜県	98	4	10
静岡県	252	9	10
愛知県	240	7	13
三重県	152	5	6
滋賀県	29	2	2
京都府	87	3	5
大阪府	209	6	8
兵庫県	116	5	8
奈良県	29	1	3
和歌山県	73	2	2
鳥取県	38	2	2
島根県	111	5	6
岡山県	181	5	7
広島県	50	3	8
山口県	74	4	7
香川県	79	2	5
徳島県	75	3	3
愛媛県	167	6	7
高知県	102	4	5
福岡県	72	3	14
佐賀県	73	3	8
長崎県	172	5	6
熊本県	266	8	11
大分県	101	2	5
宮崎県	146	5	6
鹿児島県	204	7	10
沖縄県	128	5	5
合計	6,423	213	323

各種コンテンツのご紹介

(1) 人材協のコンテンツのご紹介

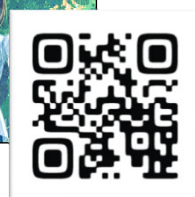
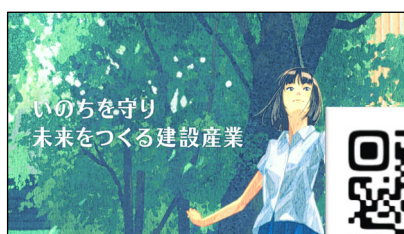
建設産業人材確保・育成推進協議会（人材協）では将来の建設産業を担う若年者に対し建設産業を“より身近に” “より分かりやすく” 情報提供すること並びに職業選択の一助となるようコンテンツを設けております。

ご参考までにこちらをご紹介させていただきます。

①HP「建設現場へGO!」

建設産業に関するコンテンツやイベントを検索&閲覧できます！

<https://genba-go.jp/>



②「建設産業ガイドブック」

建設産業の役割や各工事業の仕事について、写真やイラストを用いて紹介しています！

<https://genba-go.jp/download/>



③「18歳のハローワーク」

工事の流れを工程ごとに解説し、建設産業で働く職人へのインタビューも掲載しています！

<https://genba-go.jp/18hellow/>



(2) 建設業振興基金の機関紙のご紹介

●「建設業しんこう」Web

“建設産業の今を伝え未来を考える”をコンセプトに、国民と建設産業をつなぐ広報ツールとして、建設産業の魅力やインフラの重要性等をわかりやすく伝えることを心がけ発行しております。

<https://www.shinko-web.jp/>



建設産業人材確保・育成推進協議会

事務局：一般財団法人建設業振興基金

